

(3) 不登校

ア 不登校を学びへ

**ネガティブな感情は、「成長欲求」の証し**

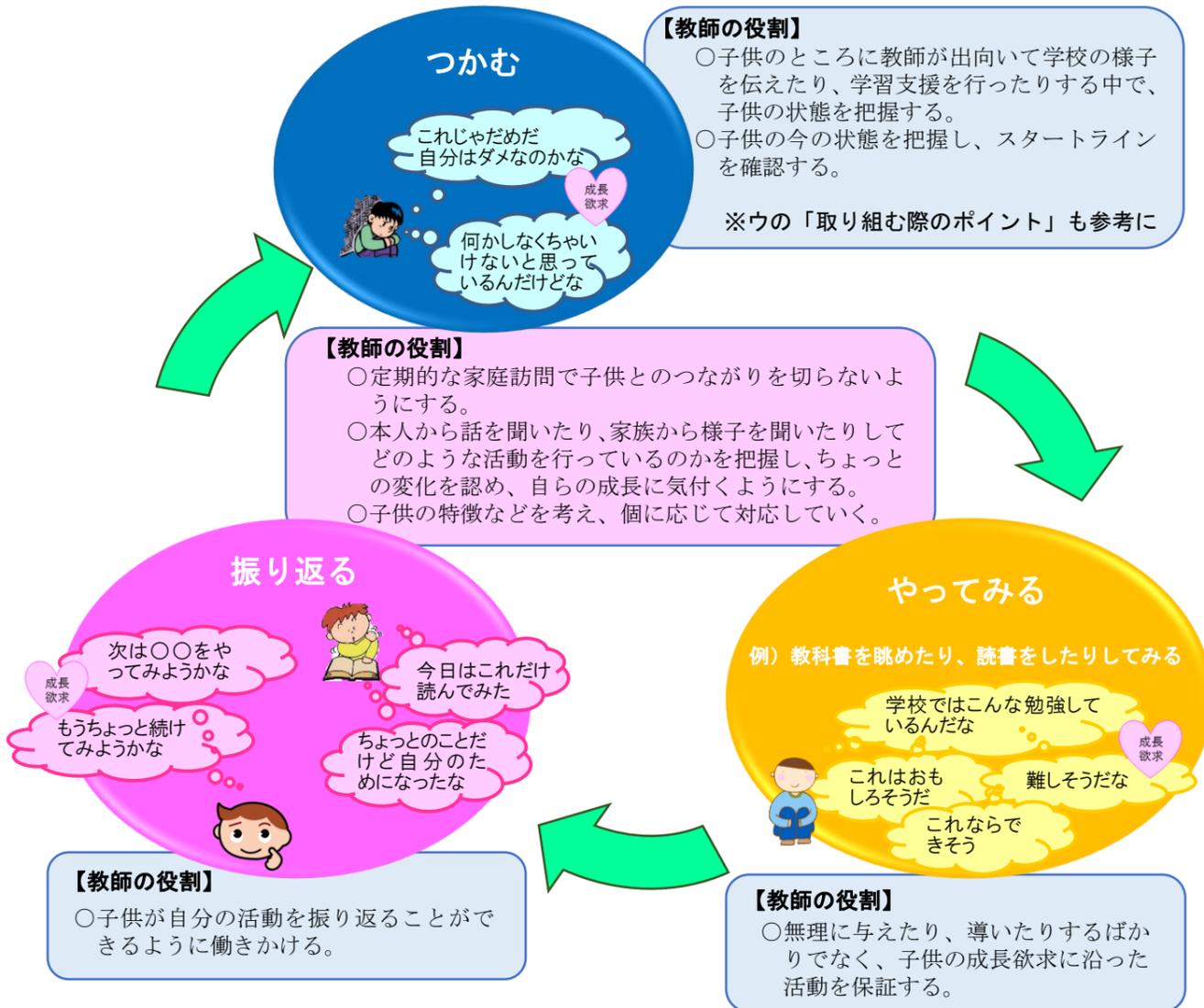
今の自分は何もできない → 本当はやりたいことができるになりたい (成長欲求) → 「社会的自立」への学びのチャンス

**不登校における学びとは**  
一人一人異なるスタートラインから、外に出てみる、学校のことを考える、本を読んでもみるなど、今の自分にできることをやってみて、それぞれが少しの成長を実感すること。そして、新たなスタートラインから、そのときの自分にできることを積み重ねていくこと。

**「今、できること」を**  
子供と一緒に今の状態を捉え、そこをスタートラインとして「今、できること」を積み重ねることができるようにならしましょう。

**子供自身が自分の成長に気づくように**  
一人一人の成長欲求を満たせるよう、ちょっとした変化を認め、価値づけしていきましょう。

イ 不登校を学びにするための教師の役割と「自ら学び続け学び合う子供」の姿



ウ 不登校に取り組む際の3つのステップとその流れ

- ① 未然防止 (健全育成) 「魅力ある学校づくり」
- ② 初期対応 「早期発見・早期対応」
- ③ 自立支援 「事後の対応・ケア」

**～取り組む際のポイント～**

- 本人、教師だけでは難しいことが多いので相談機関・支援機関のサポートも積極的に活用する。(資料参照)
- 事後の対応では、急ぎすぎない。
- ときには待つことも有効。
- 子供の状態を把握する中で、有効なタイミングを考え支援していく。
- 長い期間で考えると、なかなか前に進まず思い悩んでいる時間も、本人の成長のためには大切な時間と考える。今後必ず進むときがある。

不登校は、どの子供にも起こりうるものです。対応する先生、保護者などの気苦労も大きいものです。すべての子供が最初から学校に登校するという結果のみを目標にすると、子供、先生、保護者などにとっても高い壁となります。しかし、学びと捉えることで、壁も低くなり不登校を子供の成長の大きなチャンスとすることができます。

エ 関連資料

- ～居場所づくり、絆づくりについては～  
生徒指導リーフ「絆づくり」と「居場所づくり」 国立教育政策研究所  
<https://www.nier.go.jp/shido/leaf/leaf02.pdf>
- ～具体的な対応方法については～  
長期欠席・不登校対策スタンダード 佐賀県教育委員会  
[https://www.saga-ed.jp/shidou/soudan/pdf/030\\_satandard\\_honhen.pdf](https://www.saga-ed.jp/shidou/soudan/pdf/030_satandard_honhen.pdf)
- ～県内の相談機関・支援機関を探すには～  
佐賀県子ども・若者自立支援マップ 佐賀県 健康福祉部 こども未来課  
[030\\_standard\\_honhen.pdf \(saga-ed.jp\)](https://www.saga-ed.jp/030_standard_honhen.pdf)
- ～その他不登校関係資料を探すなら～  
佐賀県教育センターホームページ 佐賀県不登校関係資料集  
[不登校関係資料 | 佐賀県教育センター \(saga-ed.jp\)](https://www.saga-ed.jp/)

【コラム】「褒めること」と「認めること」の違い

大人が子供を「褒める」ときは、一般に大人の基準や水準で「褒める」ことが多い傾向にあります。そして、大人の側の基準で一定の水準を達した、水準を超えたと評価するのが「褒める」という行為と言えます。

子供自身の目標、工夫する点や努力する点 (子どもの基準) に沿って、子供がどこまで達成できたかを (大人が) 評価することが「認める」ということにつながります。

教師が子供の自ら学ぶ姿を支えるために大切なことは、大人 (教師) が子供を「認める」ことです。このことにより、子供自身が自らの成長に気づき、自己有用感が高まり、自ら学び続けることができるようになっていきます。

参考資料 生徒指導リーフ Leaf. 18 「自尊感情」？それとも「自己有用感」？